

パーソナルデータの分散管理とパーソナルAI (PAI: 各個人専属のAI)

パーソナルデータの管理

	集中(各管理者が多くの人々のPDを管理)	分散(各管理者が1人だけのPDを管理)
自力		本人が管理
委託	他人が管理	PAIが管理

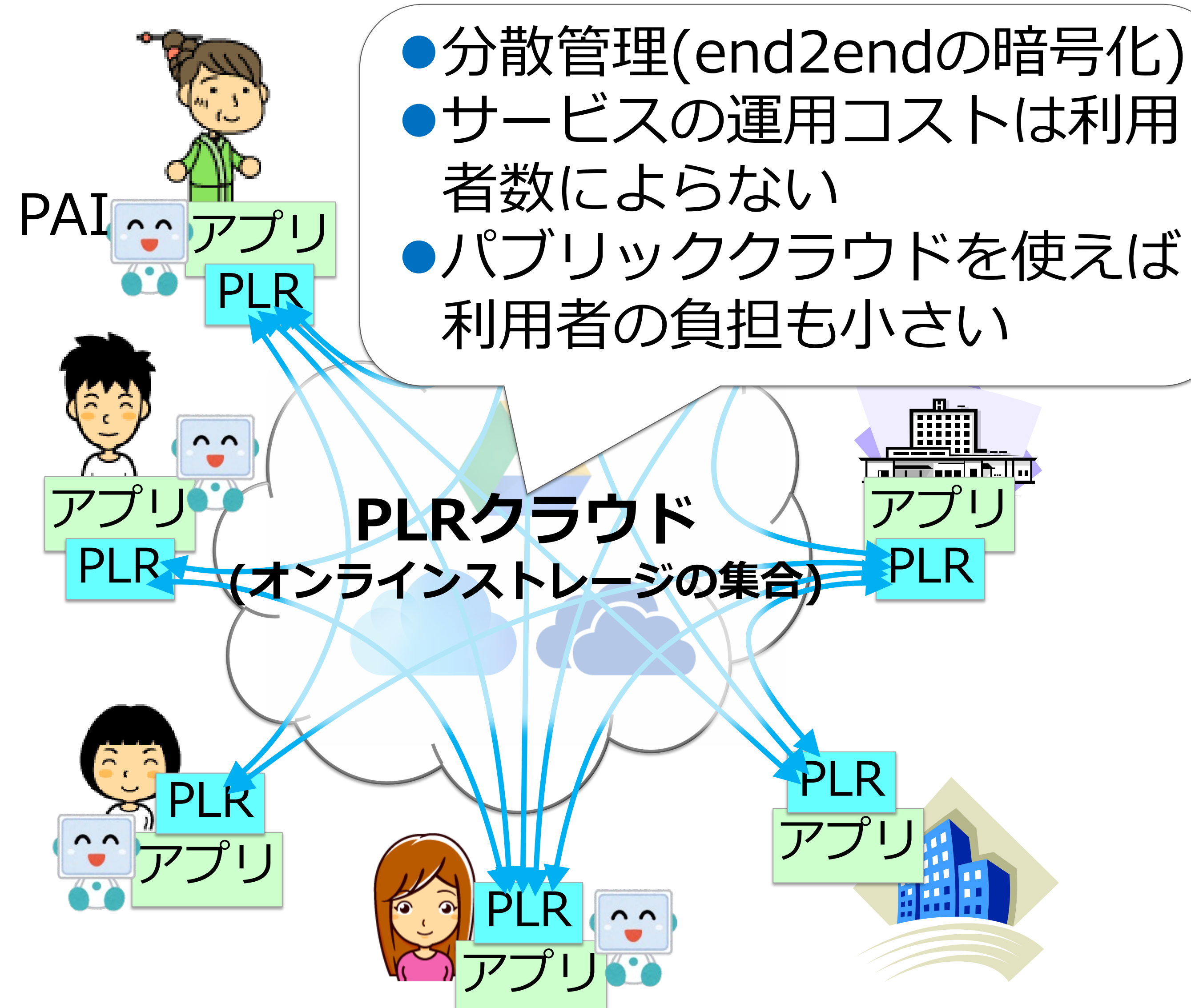
統制が困難で危険

- 大規模なデータ漏洩等のリスクと管理コスト
- データが囲い込まれて活用しにくい

- 本人にとっても事業者にとっても最も安全で付加価値が高い
- 本人専属の代理人が管理するのと本質的に同じだが、各個人に専属の代理人を付けるのは一般には不可能

PLR (Personal Life Repository)

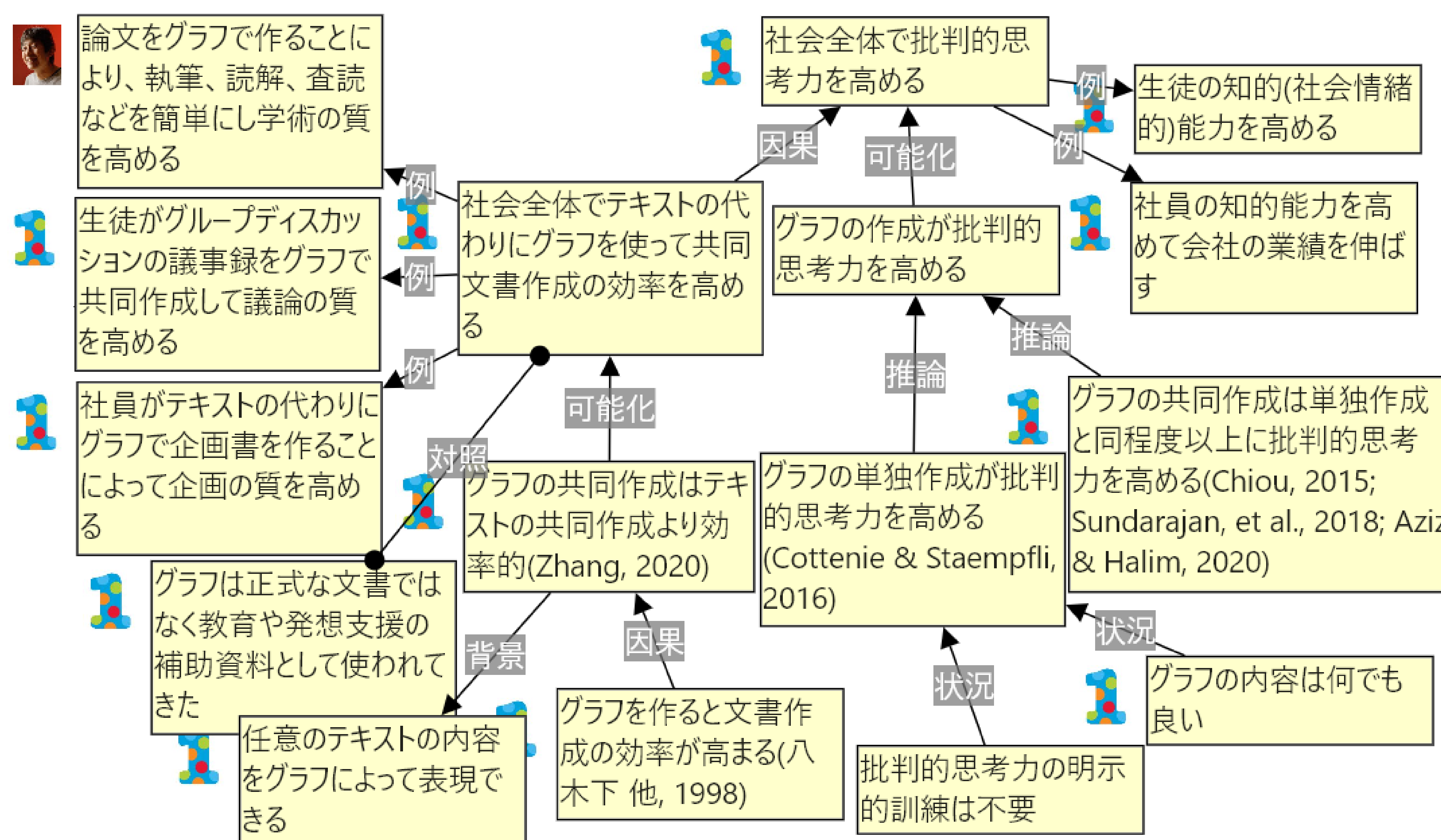
- 分散PDSソフトウェアライブラリ
- PAIがPDを安全に管理して本人と社会のためフル活用
- AIの運用と開発の基盤
- 数十億の利用者にアプリの保守コストだけでサービスを提供可能
- PLRを組み込んだ多様な実用アプリを簡単に素早く開発して大規模なサービスを安価に運営可能
- 実証実験→社会実装
 - 電子母子手帳@市立伊丹病院
 - 乳幼児健診の電子化@熊本県荒尾市
 - 介護支援@山梨県南アルプス市



セマンティックオーサリング(SA): オントロジーで規格化されたグラフ文書の作成

右のようなグラフ文書の方がテキスト文書よりも作成が容易であることと、グラフを作ることによって批判的思考力が高まることは先行研究で明らかにされていたが、グラフ文書を業務等の現場に導入する方法が不明だった。

PLRアプリによるSAを高校1年の「現代の国語」の授業(2クラスで約40名の生徒)で2~5人の小グループのディスカッションの議事録の共同作成に有効活用できることを実証。SAは学習指導要領に従う通常の学校教育において教員の負担を増さず効率を高める。これにより**グラフ文書を教育現場に普及させ、多くの生徒の批判的思考力を向上させる**ことが可能。



グラフ文書の例: オントロジーによる談話関係等の規格化

生活や業務にSAを普及させることにより、文書作成の効率が高まるとともに、批判的思考力の向上によってあらゆる知的作業の質が向上し、**産業や学術の水準が永続的に高まる**と考えられる。グラフ文書はAIの学習データとしても入力データとしても有用性が高いので、**SAの普及がAIを振興し、AIの振興がSAを高度化**すると期待される。